

高原 幸雄市議 042-577-3375
尾張 美也子市議 042-574-4356
住友 たまみ市議 042-505-9030



高原幸雄市議



尾張美也子市議



住友たまみ市議



2016年9月11日(日)号
No.1545 明るい国立社
電話 042-576-0655
メール jpckunitachi@gmail.com
市議団ホームページ
http://www.jpckunitachi.net/
日本共産党の活動を紹介します。
バックナンバーはHPからご覧になれます。

国立駅周辺等の街づくりについて、①9階建てマンション建設計画はとどのよ様に變更されたのか。抜本的な見直しを求めました。



9階建て計画の見直し、旧駅舎の復原、大学通り自転車レーンの改修をいぞげ

高原幸雄議員の一般質問

第2回定例会で私の質問に対して、市長は、8月中旬に検討を集約し、9月議会に報告すると答弁していただきましたが、これまでの整備計画(素案)から今回の計画(案)に変更

②旧国立駅舎復元後の活用は、市民の意見を十分に生かして行うべきと市の考えを質問し、市も最初から団体に運営を任せるとは考えていないと思潮が答弁しました。

④大学通りの自転車レーンの安全対策のための改修工事を送球に進めるよう要求しました。市議会としては、昨年の第3回定例会で全会派一致で、東京都道146号線(通称大学通り)の整備を求める意見書を可決し、東京都知事に提出しています。この中で、大学通りの自転車レーンの舗装を整備し、自転車が安心して走行できる環境を整えることです。市の答弁では、9月4日から改修のための工事が始まっている

③、学校給食センターの建替え計画については、建替えはセンター方式で行うことが審議会の答申として出されています。

尾張美也子議員は、9月5日に一般質問を行いました。国立市の65歳以上の世帯で、1%が独居です。老々介護や独居高齢者の増加に伴う介護の課題に



一般質問する尾張議員

ついて質しました。市は、独居の方には定期循環型介護サービスがあると答弁しましたが、実際に独居で利用している方は4名だけと判明。尾張議員は、調査に基づき、制度上は要介護なら誰でも受けられるが、食事介助などの時間を要する方を支援することはできない(1日1時間半以上の介護は人件費を圧迫する)制度となつている点を指摘し、重度で独居の方などは、定期循環型サービスによる在宅介護

尾張議員は、国立市の65歳未満の死亡率が東京都平均より高く、特に国保加入者の死亡率が高いことを指摘し、特定健診に大腸がん検診をセットするように要望し市は検討すると答弁しました。

燃ごみは減り、事業系可燃ごみが増えている事実を示し、アンケートも反対が2倍に増え、自由記述欄も反対が一番多いなか、市内で有料化を決めたことは市民の意思に反すると質しました。

最後に、保育園民営化は在園児童に対する影響が多いため、100人を超す待機児の解消をめざすためにも、民営化でなく公立を守り、認可保育園の拡大に力をつくすべきです。

ただでは対応できない課題があることを検証しました。市は、今後、現場を調べるといふ答弁をしましたが。

横浜や葉山など有料化せずに分別施策で大幅減量を達成した例を示し、可燃ごみから紙ごみなどの資源ゴミ分別の徹底策を行うよう求めました。

ある停車帯を植樹帯にし歩道を広げることが道路構造令に基づいても可能なので、車でなく人優先の空間にするよう提案しました。

東地域を通るくっこみ二の谷保駅経由について質問し、10月から谷保駅ロータリーを経由すると答弁しました。

重度な方の在宅支援には限界ある介護保険制度を検証 減少している家庭可燃ごみは有料化より分別施策の徹底を

尾張美也子議員の一般質問

若者が安心して学べるために(奨学金制度)の充実を！ ごみ有料化の前に、EPR(拡大生産者責任)と5Rの推進を！

住友たまま議員の一般質問



住友たまま議員は9月1日(木)に一般質問を行いました。今回の質問では、ごみ問題について、子育て支援について、教育について、認知症の施策についての4項目を取り上げました。

国立市ではゴミ有料化については、6月の定例会でゴミ有料化の実施方針(素案)が報告され、議会でも議論されている最中ですが、まずは、ゴミ有料化の是非の前に循環型社会形成推進を考えた時、地球温暖化問題、環境問題とも関係してきています。このことから根本的にゴミの減量に取り組んでいく事はこれからの社会にとって必要不可欠と考えられます。

今回はごみの減量方法に焦点を当てて、5Rの考え方やEPR(拡大生産者責任)に対して実質的な取り組み案はあるのかと質しました。市では今後の取り組みとしています。住友議員は有料化を行う前にきちんと減量方法と計画を持つべきと意見を述べました。

また、学童保育所の定員オーバーの問題では具体的な数値と実態について質しながら、増加傾向の施設に対する取り組み

強化を要望しました。

市は、校庭や児童館の遊戯室を臨機応変に使用して対応しているとの答弁でした。

教育について、現在大きな社会問題ともなっている奨学金制度ですが、文教都市国立市として、制度の創設を訴えましました。日本の大学教育にとって奨学金の役割はますます重要になっていきます。いまや学生の2人に1人が奨学金を借りているという状況です。学びたい意欲があり、能力があるにもかかわらず就学を断念せざるおえないという事実は大変残念なことであり、あつてはならない事だと思えます。しかし市では今のところ奨学金制度をつくる気は無い、国や都の動向を注視するといった内容の答弁でした。

子供の貧困問題とも関係がある問題ですので、今後も子供の将来の可能性を広げる一助となるこの制度に対して推し進めていきます。

国立市からも参加しましょう！

強行採決から1年

戦争法廃止!

9.19国会正門前行動

9月19日 月・祝

15:30~17:00

国会正門前

戦争法強行採決から1年、私たちはあきらめない! 忘れない! 戦争法は廃止を!

南スーダンPKOでの「駆け付け警護」「宿営地共同防護」は戦争だ!

沖縄の高江オスプレイパッド建設中止、辺野古新基地建設計画は断念を!

主催 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会
連絡先 [総がかり行動] 1000人委員会 03-3526-2920 / 9条壊すな! 実行委員会 03-3221-4668 / 憲法共同センター 03-5842-5611

無料

生活相談会のお知らせ

- *日時・・9月23日(金) 19:00~
- *場所・・東福祉館 第一会議室
- *担当弁護士・・長尾 宣
- *担当市議・・尾張 美也子
- *連絡先・・042-574-4356
090-8370-2387
(事前予約をお願いいたします)